

西日本旅客鉄道株式会社

交通系ICカード「ICOCA」とスマートフォンで使用する移動生活ナビアプリ「WESTER」を組み合わせることにより、消費者の公共交通利用促進への行動変容を促すデジタルスタンプラリーを実施し、地域・社会の脱炭素化推進に貢献。

JR西日本グループ移動生活ナビアプリ「WESTER」上で、利用者に鉄道の環境優位性の啓発と鉄道利用による環境優位な消費行動変容を促すデジタルスタンプラリー「電車de脱炭素ポイントスタンプラリー」を実施

※2022、2023年度と2年連続で大阪府脱炭素ポイント推進プラットフォームの実証事業に採択 **※2024年度も実施予定**

※2023年11月開設の環境省による「脱炭素で豊かな暮らし（ウェルビーイング）のためのG7プラットフォーム」に日本の好事例として選定され、同WEBサイトに掲載中

【2023年度の概要】

- ・実施期間：【第一弾】2023.11/1~30
【第二弾】2024. 1/4~31
- ・実施内容：①鉄道の環境優位性の啓発動画の視聴
②ICOCAを使用して鉄道を4回利用後、アンケートに回答。
(発着のいずれかを大阪府内の駅とする)
- ・インセンティブ：上記コンプリート者全員にWESTERポイント(100ポイント)付与。
かつ【第一弾】【第二弾】両方の達成者の中から抽選で100名様に1,000ポイント付与。



＜アプリ内スタンプラリーのイメージ＞

①啓発動画の視聴
どうして電車de脱炭素かというと...
鉄道は自動車に比べるとCO2の排出量が、なんと5分の1!
乗車人員あたりのCO2排出量

②ICOCAによる鉄道利用

WESTERポイントプレゼント!
ポイントはICOCAで使用可能
グループ系列店舗で使用可能

【取り組み内容・CO2排出削減効果】

- ・延べ参加者数：延べ21,600名
- ・スタンプラリーにかかる総移動回数（推計値）：約93,900回
- ・総移動距離（推計値）：約209.9万km
- ・自家用車から鉄道へのシフト（推計値）：約6,500回
※アンケート回答からの自家用車から鉄道利用への遷移率：約7%

＜本実証におけるCO2削減効果（推計値）＞

2022年度

2023年度

合計

約5トン

+

約14トン

=

約19トン

➤ 参加者の行動変容

アンケート回答から、鉄道の環境優位性を知ったことで、鉄道利用を増やしたいと回答した参加者は約80%、また、このようなキャンペーンの継続を希望する回答も多く見られ、行動変容の効果があつたと想定されるとともに、持続的行動変容も期待される。

鉄道が車や飛行機に比べ環境に優しい乗り物と知ったことで、今後意識的に鉄道を利用しようと思うか、今後このような環境をテーマにしたスタンプラリーに参加したいか

できるだけ鉄道を利用したい	3,549
2回に1回程度は利用したい	244
5回に1回程度は利用したい	114
10回に1回程度は利用したい	18
変わらない	852
その他	34

大いに当てはまる	1,755
やや当てはまる	838
わからない	89
やや当てはまらない	48
当てはまらない	15